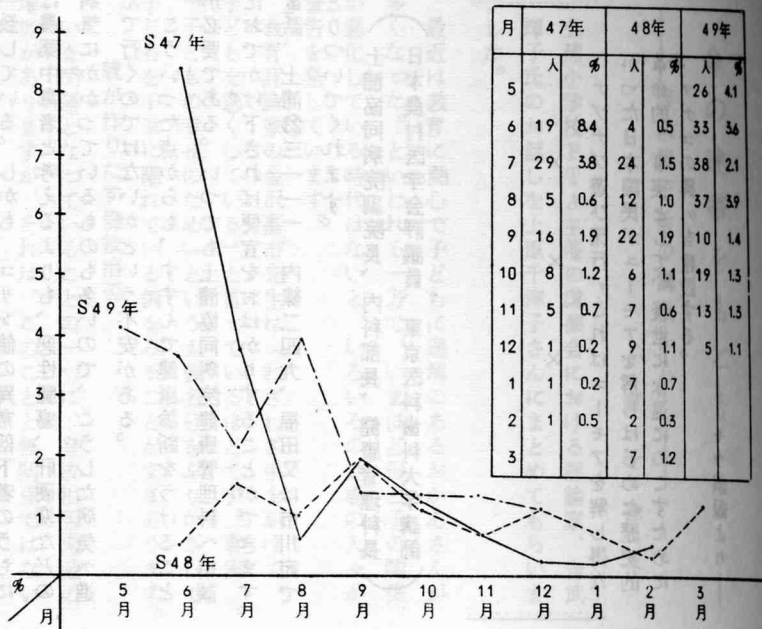


コリンエステラーゼ0.5以下逐月成績



になつてしまふから、生産者はこうした農薬を出穂期から収穫間近に稀穂めがけて散布せざるを得ない。
米粒にわずかに発見できる程度の黒点が、ごはんの中に二、三粒入つたからといって、食味に変化がおきるものとは思われないし、また人体に悪影響があるものとは考えられない。むしろ農薬による汚染の方が心配である。

◇

自分の健康は自分が守る。そのためには、まず健康診断を受けましょうと、農協に呼びかけて、農協婦人部の人たちを検診して三年間、二月二十日、水戸で農民の健康会議を開いて報告会をしました。

総合判定の結果は、円グラフでみるように、健康者は三十二%から四十二%とふえましたが、治療を要するものは二十六%、すなわち、四人に一人は病人と変わりはありません。また、有機リン剤中毒の診断に重要な意義をもつコリンエステラーゼ測定結果をみると、○・七以下の異常者は二十%、二十二%、二十七%と年々増えていることに気がつきます。○・五以下の高度障害者は、二%、一%、二・四%と低率ではあるが、低毒性の殺虫剤とはいえ危険であることには変わりがないと思う。そこで○・五以下のものを月別に調べてみると、やはり冬期には農薬の散布がないので、異常者の発生が少なく、